

# 遙かなる

# メソポタミア

2014. 7/8 Tue

~ 8/31 Sun



土偶（紀元前 5500 年頃）  
古代オリエント博物館 / 個人蔵

ヒトはどのような生き、  
どこに向かうのか。  
その営みと叡智を探る旅に出よう。



— 時空を超えたヒトの営み —

ハンムラビ法典碑（レプリカ）  
〔紀元前 1792-1750 年〕  
古代オリエント博物館蔵

## 開館時間

午前 9 時 30 分 ~ 午後 5 時  
(入館は午後 4 時 30 分まで)

## 休館日

毎週月曜日 (ただし 7/21 は開館し、7/22 が休館)

## 入館料

一般 600 円、65 歳以上・高校生・大学生 400 円  
※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者 1 名は無料 / 20 名以上の団体は 2 割引き



大阪府立弥生文化博物館  
Museum of Yayoi Culture  
〒594-0083 大阪府和泉市池上町 4-8-27  
TEL: 0725-46-2162 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi>

関連講演会

場所：弥生文化博物館1階ホール  
参加費：無料（ただし、入館料が必要です）  
定員：170名  
（当日先着順。開館時より整理券配付・開始30分前から受付）

7/12 (土) 14:00 ~ 16:00 考古学セミナー

「時の積層 -シリアでテルを掘る-」  
下釜和也氏（古代オリエント博物館・研究員）

7/19 (土) 14:00 ~ 16:30 愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 研究報告会

古代ユーラシア大陸のアイアン・ロード -鉄の歴史を探る-

- 「ユーラシアにおける鉄の起源と伝播」  
村上恭通氏（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・センター長）
- 「トルコ・カマンカレホック発掘調査参加記 -最古の鉄との遭遇-」  
榎林啓介氏（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・講師）
- 「匈奴と鉄 -モンゴルの発掘成果を中心に-」  
笹田朋孝氏（愛媛大学法文学部・准教授）
- 「中国漢代の製鉄遺跡を掘る -蜀の遺跡を中心に-」  
村上恭通氏

7/26 (土) 14:00 ~ 16:00 日本西アジア考古学会 特別講演会

「メソポタミアへの再接近 -遺跡調査の現場から-」  
小高敬寛氏（東京大学総合研究博物館・特任研究員）

8/9 (土) 12:30 ~ 16:00 メソポタミア展 開催記念講演会&ミニシンポジウム

古代オリエント -その叡智と文化-

- 「ハンムラビ法典作成の目的とその現代的意義」  
中田一郎氏（古代オリエント博物館・館長、中央大学・名誉教授）
- 「トルコ・キュルテペ遺跡の世界遺産登録に向けて」  
紺谷亮一氏（ノートルダム清心女子大学・教授）
- 「シリア・バルミラの死生観」  
西藤清秀氏（奈良県立橿原考古学研究所・技術アドバイザー）

学芸員による展示解説

7月12日（土）、26日（土）、8月2日（土）、24日（日）  
※特別展示室において。午前11時より約1時間。

体験イベント

8月3日（日）、23日（土）、24日（日）各日とも10:00 ~ 15:00  
◎シリアの民族衣装をきてみよう！  
◎土器パズル初の競演！オリエントの彩文土器と弥生土器

# 遙かなる

2014. 7/8 Tue  
~ 8/31 Sun

# メソポタミア

— 時空を超えたヒトの営み —



旅立とう！  
紀元前の  
メソポタミアへ！

スタンプ印章印影  
古代オリエント博物館蔵



粘土で封をした壺（復元）  
古代オリエント博物館蔵

## 解説！ 楔形文字

いまから4000年くらい前、  
ウンマに住んでいた？  
ニババさんが  
受け取ったもの。



粘土板文書 ウンマ遺跡（イラク）  
〔紀元前2035年〕  
古代オリエント博物館蔵

- 3シラの上等のビール
- 2シラのパン
- 2ギンの植物
- 2ギンの油
- 1匹の魚
- 一束の玉ねぎ

※1シラは約1リットル。1ギンは約8グラム。